

木村葵 金 木俣銀



男子ビッグエア
スノーボードは7日、男子ビッグエアの決勝が行われ、木村葵(ハルサキスポーツ)が179・50点で金メダルを獲得しました。木俣真(ヤマゼン)が171・50点で銀、2人は同種目の日本勢で初のメダル獲得となり、ビッグエアの金銀男女を通じて日本勢初の快挙。

長谷川帝勝(TOKIOインカミ)が11位、萩原大翔(同)は12位でした。(時事)

鮮やか 5回転半



イタリアの夜空へ鮮やかに舞い上がり、明るく照らされた雪面に完璧に着地した。木村葵(きむら・き)は21日の3回目。大歓声を浴びながら両手を広げ、勝ったなと思った。表彰台の頂点に立った。1回目は横5回転半の「バックサイド1980」を危なげなく決めた。しかし、2回目は空中で足が滑り落ちて転倒。次の3回目は逆のスタンスで背中側に踏み切る横5回転半を成功させた。この日最高の90・50点をマーク。(喜びが)爆発して、頭が真っ白だった。後続の選手が上回れず、うれしそうに金メダルを首から下げた。

昨季はどん底にいた。オフシーズンの右足首の靭帯(じんたい)損傷のけがを引きずり、ワールドカップ(W杯)は1度だけ3位に入っただけ。日本の女子が表彰台を独占し、男子が金、銀を獲得した世界選手権では、木村葵はただ一人の予選落ちに終わった。「やめたい、もう一度、何していいんだろ、という感じだった」。支え続けてくれた両親からは私生活のことも含めて指摘され、自暴自棄になった。ただ、2014年ソチ大会を見て憧れた五輪を諦めるわけにいかなくなった。「負けず嫌いが出た。誰よりも強くなりたいと思った」。スノーボードを始めた頃のことを思い出して、気持ちを切り替え、オフシーズンの取り組みをすぐに計画。体幹や筋力の強化など、基礎から見直した。着地の安定感などにつながり、今季W杯は2位が2度、苦境からはい上がり、夢舞台に立った。

スノーボードは父の影響で4歳から始めた。並行して中学1年まで続けたが、運動能力を高めるための体操。「運動能力が高まる、か、習わされていたと笑う、今ではそこで培った空中感覚が完成度の高い技につながっている。W杯や世界選手権など、主要な世界大会ではこれまで1勝もしていない。それでも、注目された日本勢の中だけで、世界のトップに。表彰台の真ん中は高かった。気持ちよかったです。苦しみも経験してつかんだ頂点。言葉に実感がこもった」。(時事)

スノーボード男子ビッグエア決勝、2回目の木村葵(時事)

木俣真 技は120%出た。上は日本人がいるのは正々堂々、これに負けない滑りができた。葵ももううまかった。おめでとう。(時事)

小林序盤にミス
2回戦終え23位
リージュは7日、男子リージュは7日、男子1人乗りの1、2回戦が行われ、2大会連続出場の小林誠也(中外印刷)は2回合計1分49秒324で23位と出遅れた。4回の合計タイムで争われ、3回戦を終えて20位までの選手が

団体2位 最終日へ
(SP)で鎌山優真(オリエンタルパイオ)が108・67点でトップに立ちました。イリヤ・マリニン(米国)は2位。

堀川は18位
スピードスケートは7日、女子3000mが行われ、堀川桃香(富士急)は4分8秒32で18位でした。フランスエスカ・ロバリアジが五輪新記録の3分54秒28で優勝し、地元イタリア勢で今大会初の金メダルを獲得しました。(時事)

日本が独に敗北
通算1勝1敗に
アイスホッケーは7日、女子の1次リーグが行われ、B組の日本はドイツに2-5で敗れて通算1勝1敗となりました。第2ピリオド途中まで0-5と大敗。オランダ(トヨタシグナス)や韓国(道路建設)のゴールで反撃しましたが及ばませんでした。(時事)

坂井に誤算
白76で単に80がまざった。右上を急いで決めなくてはよかった。こまごまの進行を見て、「坂井さんはこれだけという雰囲気を感じると、解説の関山利道九段、たまた、実際の形勢は細かいのだ。

4回戦に進みます。(時事)
「欲張り過ぎ」
巻き返し誓う
▽リージュ男子1人乗りの小林は1回戦を滑り終えると、思わず頭を抱えた。スタート直後に壁につかり、序盤のコーナーでも壁に接触。スピードに乗れず、25人中24位と出遅れた。

タートで力みが生じ、ミスを招いた。4回戦に進めるのは上は20人。「全力で諦めずにつかりと滑り切りたい」と3回戦での巻き返しを誓った。(時事)

ミラノCortina 2026
拓実は一アンダーの63位。八村は18得点

【ロサンゼルス時事】米プロバスケットボール協会(NBA)、レギュラーシーズンの八村塁は7日、本拠地のウォリアーズ戦に先発出場し、28分22秒のプレーで18得点、1リバウンドで18得点、1リバウンドで18得点、1リバウンドで18得点。チームは105-99で勝った3連勝。

【ロンドン時事】サッカー
佐野海フル出場
中島啓太(平田憲聖)は通算2アンダーの58位。金谷

【ロンドン時事】サッカー
佐野海フル出場
中島啓太(平田憲聖)は通算2アンダーの58位。金谷



女子個人NH
ノルディックスキー・ジャンプは7日、女子の個人ノーマルヒル(HS107)が、K点98mが行われ、丸山希(北野建設)が合計261・8点で銅メダルを獲得しました。1回目に97・2回目に100・0点を飛ばし、ジャンプ女子で日本勢のメダルは2018年平昌五輪3位の高梨沙羅(クラレ)以来、2人目。アンナオディネ・ストロム(ノルウェー)が合計267・3点で金メダルを獲得し、ニカ・ブレブツ(ス

丸山銅 日本女子2人目
伊藤克彦の
丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

国立スポーツ科学センターで松葉づえをつき歩み寄ってきた。私たちが声をかけようかと思いついた矢先、吹っ切れた表情で「けがしちゃいました。また次、頑張ります」と、明るさの中にも強い意思を感じました。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。

丸山選手という4年前のあの日の姿を思い浮かべます。北京五輪の前に、左の足首十字靭帯(じんたい)断裂などに見舞われた直後のことでした。